

## 【 種・教養 例題 1 】

近年の地球環境問題に関する次の各文中の下線部分ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ・近年、世界的に異常気象が頻発しており、地球温暖化の傾向と一致すると解されている。地球温暖化対策の国際的枠組みであるパリ協定では、ア今世紀後半に人為的な温室効果ガス排出量を実質ゼロ（排出量と吸収量を均衡させること）にすることなどを目標としている。しかし、2019年11月にアメリカのトランプ政権はパリ協定からの脱退を正式に通告した。世界のエネルギー起源二酸化炭素の国別排出量を見ると、アメリカはイ近年、中国を抜いて世界第1位となり、アメリカ一国で世界全体の排出量の約4割を占める。アメリカの脱退が協定の実効性に影響を及ぼすことが懸念されている。
- ・世界の森林面積は減少しており、2010～2015年の間にはウアジア、アフリカ、ヨーロッパ、北中米、南米、オセアニアのいずれの地域でも森林面積が減少した。近年は森林火災が頻発しており、2019年にはエブラジルのアマゾンやオーストラリアなどで大規模な火災が発生した。
- ・近年、海洋プラスチックごみによる海洋汚染が地球規模で広がっている。陸上から海洋へのプラスチックごみの流出量を国別に見ると、オ日本やアメリカ、西ヨーロッパ諸国が多く、上位を占めると推計されている。2019年のG20大阪サミットでは、2050年までにプラスチックごみの流出による海洋汚染をゼロにすることを目標として策定した。

1. ア, エ
2. ア, オ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. ウ, オ

## 【 種・教養 例題 2 】

2019年7月に行われた参議院議員通常選挙に関する次の文中の下線部分ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

2019年の参議院議員通常選挙では、前年の公職選挙法改正により、ア定数が削減され、一票の格差の縮小が図られた。また、同改正では、比例代表選挙についても見直され、イ非拘束名簿式を基本的に維持しつつ、政党等が、優先的に当選人となるべき一部の候補者を、順位を付けて名簿に記載できる特定枠制度が新たに導入された。

選挙の結果、与党である自民党と公明党は、改選議席のウ過半数を獲得した。選挙後の全議席について見ると、与党と憲法改正に前向きな勢力とを合わせたいわゆる「改憲勢力」の議席数が憲法改正の国会発議に必要な議席数をエ上回り、これを受け、衆参両院の憲法審査会において憲法条文の改正案の審議が始まった。また、女性の参議院議員数は過去最多となり、オ全参議院議員に占める女性の割合は30%を超えることとなった。

1. ア, エ
2. ア, オ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. ウ, オ